

心臓 MRI で計測した心臓のサイズと 12 誘導心電図上の QRS 幅の相関関係に関する研究に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019 年 4 月 20 日 ～ 2023 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

心臓 MRI で計測した心臓のサイズと 12 誘導心電図上の QRS 幅の相関関係に関する研究

〔研究目的〕

高齢化に伴い、心不全患者は増加の一途をたどっています。心不全で苦しんでいる患者さんの中には心臓のポンプとしての機能(駆出率)が低下している人たちがいます。このような患者さんの中には特殊なペースメーカー療法(心臓再同期療法)を行うと心機能が回復することがあります。心臓再同期療法はペースメーカーによって心臓の伝道障害(電気の流れの障害)を補正することにより心機能を良くする療法です。この療法は男性に比べ女性の方が心臓再同期療法の効果が期待できるとの報告があります。その理由として男性に比べ女性は体格が小さく、心臓の大きさも小さく、それに伴い生理的電気の流れ(心電図上の QRS 幅)も男性に比べて狭く、心臓再同期療法の効果が得やすいのではないかと考察されています。しかし、心臓のサイズと QRS 幅の相関関係を調べた研究報告は少なく、我々は心臓 MRI 検査を用い心臓のサイズと QRS 幅の相関関係を調べることとしました。

〔研究意義〕

この研究をもとに心臓再同期療法の早期介入などが検討される可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2013 年 3 月から 2018 年 8 月までの診療記録(年齢、性別、既往歴、心臓 MRI、12 誘導心電図等関連情報など)を元に調査が行われます。 3 3 2 と

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 内科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

収集された情報は、当院にて厳重に管理され、それを必要とする者のみ閲覧することができます。したがって患者様の医療記録に関する秘密は守られます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者: 渡 雄至 (内科学講座 講師)

研究分担者: 寺田 悠紀子 (内科学講座 医員)

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 30415]